

100周年を祝う、次の100年に向けて



当時の新聞記事で振り返る
Tokiwa Park Times
その10
2017年(平成29年)4月28日
2025年(令和7年)4月23日

「世界を旅する植物館」完成祝う

2017年(平成29年)4月28日



ときわミュージアム「世界を旅する植物館」の完成記念式典が

入館料は一般300円、70歳以上200円、18歳未満と障害者は無料。開館時間は午前9時から午後5時(入館は午後4時半まで)。

典が開催され、関係者ら約150人が出席し、新たな観光施設の誕生を祝った。植物館は世界各地の植生を体感できる八つのゾーンで構成され、それぞれに珍しいシンボルツリーが植栽されている。久保田后子市長は「植物と来館者をつなぐコンシェルジュを配置し、五感で楽しむ学べる施設。他にはない魅力を全国にPRしていきたい」とあいさつ。リニューアルを監督した西島清順さんは「バオバブから1ミリの芽が出ており、宇部の地に根付き始めている。植物館は完成して終わりではなく、成長を見守ってほしい」と語った。パフォー



世界を旅する植物館



バオバブ

「ロンギヌスの槍」常盤橋たもとに移設

2024年(令和6年)2月21日

常盤公園・彫刻の丘に設置されていた「ロンギヌスの槍」レプリカの、移設工事が進んでいる。この展示は、庵野秀明監督の「エヴァンゲリオン」にちなんだ「まちじゅうエヴァンゲリオン第3弾」の一環として行われているもので、彫刻の丘から約300m離れた常盤橋のたもとが新たな展示場所に決まり、移設作業がクレーン車などを使って始まった。



ライトアップされた「ロンギヌスの槍」

ライトアップのための電気工事も行われる予定で、市民からは完成後の姿に対する期待が寄せられている。散歩中の吉井和美さん(宇部市)は「後ろにある湖との相性がいい」と楽しみにし、また、中原健仁さん(防府市)は「場所が変わったことを知らなかったが、工事が終わったらまた見に来たい」と話した。

「まちじゅうエヴァンゲリオン第3弾」のオープニング式典が、常盤公園の彫刻の丘で開催され、目玉企画の全長7.8mを超える「ロンギヌスの槍」レプリカ前でテープカットが行われた。式典には篠崎圭二市長、槍を製作した宇部スチールの山根久雄社長、エヴァンゲリオンの著作権管理を行うグラウンドワークスの神村靖宏社長が出席。篠崎市長は「エヴァファンとして感無量。彫刻



とのコラボが素晴らしい景色となった」とコメント。神村社長は「槍という視点にエンジニアとしての心意気を感じ、作品に大きなステータスが付けられた」と話し、山根社長は「技術と情熱を込めた槍を触って鉄の質感を感じてほしい」と語った。

「ロンギヌスの槍」始まり告げる

まちじゅうエヴァ第3弾

槍は期間中、彫刻の丘に展示され、その後は公園内に移設される予定。式典前には、宇部スチールから市への寄贈式が行われ、山根社長が目録を手渡し、篠崎市長から感謝状が贈られた。

2023年(令和5年)10月6日

ギネス世界記録認定に喜び

2024年(令和6年)3月27日

60年以上の歴史を誇るUBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)が、「最も長く続いている野外彫刻展」としてギネス世界記録に認定された。公式認定証の授与式はときわミュージアムで行われ、市民約120人がその喜びを分かち合った。

同展は、戦後のまちの美化と心の豊かさを求める市民運動から始まり、1961年から2022年までに29回開催され、今年も常盤公園彫刻の丘(野外彫刻展示場)で節目の30回展が開かれる。ギネスへの申請には62年間の歴史を裏付ける資料を提出し、正式に認定された。認定を発表した関岡智美さん(ギネス認定員)の言葉に続き、篠崎圭二市長は、次世代への文化継承を呼び掛けた。



ギネス世界記録®認定
「最も長く続いている野外彫刻展」
UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)
2024.3.26



「はじまりのはじまり」

常盤公園100周年 盛大に記念行事

宇部市の常盤公園が開設100周年を迎えることを記念し、5月24日に盛大な記念イベントが開催される。彫刻の丘(野外彫刻展示場)に特設ステージを設け、記念式典では、海上自衛隊の練習機T5や救済飛行艇US2が上空を飛行、市内園児によるパルシェも開催。動物園や植物館は24、31日に入園無料、遊園地ではお得意な乗り放題パスも販売される。

トや市内を中心に約30店舗が出店するマルシェも開催。動物園や植物館は24、31日に入園無料、遊園地ではお得意な乗り放題パスも販売される。2025年(令和7年)4月23日